

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第6号

令和6年6月4日 文責：有内 弘 その1

主体的、協働的活動を通して学ぶこと！

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に
挑戦する児童の育成」～可能性を力に～

5月25日（土）令和6年度西合志東小の運動会で4つの団をリードしてくれた団長さんに作文を書いてもらいました。

そこには応援団長という大役をやり遂げた喜びや苦勞、仲間との協力や絆、そして感謝が綴られていました。まさに主体的に協働的に挑戦する姿がありました。

ぜひ読んでみてください。（両面あり）

右下の言葉★は、開会式の中で4名の団長さんが行った「児童宣誓」の言葉を紹介しています。

「ぼくが団長として、応援団に取り組む中で悩んだこと、うれしかったこと」

6年1組 大橋龍雅（緑団）

ぼくが悩んだことは2つあります。

1つ目は声です。応援団でも声は人それぞれ大きかったり小さかったりします。でもせっかく演技はかっこいいのに声が小さいとかっこよくなります。ただぼくは大きい声を出すことは得意だったのですが、声が小さい人に教える方法は一生懸命考えましたが、わかりませんでした。ですが竹原先生や草津先生が手伝ってくださったおかげで本番みんな大きな声を出すことができました。

悩んだことの2つ目は、中間発表でタイムが3分46秒だったことです。終わったすぐのみんなの雰囲気が悪くなり、ぼくもとってもあせりました。でもいろいろな先生方のアドバイスののおかげで、3秒ぐらいのずれになりました。

ぼくがうれしかったことは、大変なことがあってもみんなが励ましてくれて、ぼくがおこってもみんな素直に聞いてくれて、最後に優勝できたことです。

応援団のみんな、先生方本当にありがとうございました。

「団長になって学んだこと」

6年2組 牧 暖（赤団）

ぼくは団長になって練習をしていく中で感じたことがあります。

1つ目は、苦勞したこと、悩んだことです。初めに演舞を作るにあたって、動き、隊形、太鼓のリズム、声の4つを考えていきました。しかし、その演舞を言葉に表し、みんなに伝えることが難しかったです。自分の中で工夫する所を伝えると、みんなに理解してもらえたので、自分の中で考えをまとめることの大切さを知りました。

2つ目は、応援団の練習を通して成長したことです。最初の頃は声が小さかったり、動きもバラバラでした。週末に練習を通していく中で、みんなの団結力もだんだんと強くなって、やっとの思いでみんなの心が1つになりました。

最後に、あこがれていた団長になれて最高の運動会になりました。本番は優勝はできずに、悔しさのあまり泣いてしまったけれど、友だちからの励ましで立ち直れました。先生やお母さんから、「一生けん命に取り組んだ人は泣ける」と声をかけてもらい、何事もあきらめずがんばりたいと思いました。演舞のアドバイスや声をかけてくださった先生方、一生けん命に全力で取り組んでくれた団員のみなさんありがとうございました。

★児童宣誓★

私たちは、「自分たちでつくる運動会」を目標に今日まで協力して運動会に取り組んできました。今日はその成果を見ていただき、みなさんに感動と希望を届けられるように、精一杯がんばります。支えてくださった方々への感謝を胸に、正々堂々と表現することを約束し、一生忘れることのない最高の運動会にします。

今日の運動会によって、東小の子ども、先生たち、全員の心がつながる最高の1日にすることを誓います。

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第6号
令和6年6月4日 文責：有内 弘 その2

主体的、協働的活動を通して学ぶこと！

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」～可能性を力に～

応援団は西合志東小の校訓そのままに、元気いっぱいで、温もりのある、誇れる活動の1つです。子どもたちが自ら考え、アイデアを出し合って演舞をつくっていきます。練習をやりながら、意見を出し合い、修正しながら本番に向けて進んでいきました。どの団もそれぞれの苦勞を自分たちの力で乗り越え、協働し規定の4分という演技時間をつくり上げていきました。

「気持ちのこもった最後の運動会」
6年3組 中川紗良（黄団）

黄団の団長として、応援団に取り組んできた中で、私が思ったことはたくさんあります。

その中でも1番思ったことは、約40人全員まとめるのは大変ということでした。本当にがんばりたいと思っているのかなあと最初の頃は思っていました。全然団がまとまらず、演舞も決まっていなく、あせっていました。運動会が近くなっていくうちに、団のみんなの心が1つになってきて、安心しました。当日もよい演技ができ、4分丁度の演技ができたのでとってもうれしかったです。

運動会の当日、黄団は勝つことはできませんでしたが、1つ学んだことがあります。それは各クラスの先生方が、クラスみんなをまとめていく姿です。いろいろなことを考えているということです。なのでこれから1つ1つの行動を考えながら生活していきたいと思います。

今年団長に立候補した5人の中から私を選んでくれたクラスのみんなや私を支えてくださった先生方、団員のみんなに感謝していて、心からありがとうございますと伝えたいです。

「運動会へ向けて」

6年4組 伊藤功晟（青団）

ぼくは応援団長になってがんばったことがあります。

がんばったことは、みんなをまとめることです。まとめる上で言葉づかいを考えたり、集中できる環境をつくったりしました。時にはやさしく言ったり、強く言ったり、敬語を使ったりしました。しっかり聞くために静かする時は静かにするようめりはりをつけました。練習していく中で悪い所をみんなを出し合い改善していきました。その結果本番ではよい演舞ができました。

団員のみんな、いっしょにがんばってくれてありがとう。それからいろんな先生方の励ましの言葉がうれしかったです。

最後に楽しい運動会をつくることができてよかったです。



【 緑 団 】



【 赤 団 】



【 黄 団 】



【 青 団 】

保護者の皆様、当日はルールやマナーの遵守、観覧のご協力、そして子どもたちへの温かい応援、本当にありがとうございました。

